

第1学年 後期中間考査 正式試験範囲

第1日：11月30日（木）

時・教科	試験範囲	学習へのアドバイス
1校時 社会	<p>地理的分野 教科書 P20～32「日本の姿」 P114～138「南アメリカ州・オセアニア州」 資料集 P14～21、90～101 ワーク P16～23、64～75、81</p> <p>歴史的分野 教科書 P4・5、17～37 資料集 P2、8～29 ワーク P2～17</p> <p>時事問題 「BRICS の拡大」 「宗教・イスラエル・パレスチナ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・範囲に歴史が含まれるようになります。今まで以上に、用語を漢字で正確に書けるように練習してください。 ・文章で答える問題（説明する問題）については、何を答えなければならないか（何を聞かれているか）を読み取り、相手に伝わる文章を書くことが必要です。授業中に相手に伝えることを意識して丁寧にノートに書くことが大切です。 ・ワークは前回までと同様、解答用のプリントに記して提出してください（2枚重ねてから2つ折りでの提出をお願いします）。
2校時 英語	<p>○教科書 Unit6【pp.57～66】 Unit7【pp.67～76】 Unit8【pp.77～86】</p> <p>○エイゴラボ Unit6【pp.72～91】 Unit7【pp.92～107】 Unit8【pp.108～123】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit6よからは小学校の復習ではなく、中学生の文法事項で構成されています。難易度がグッと上がりますので、日頃の授業はもちろん、家での予習復習にも力を入れていきましょう。 ・文法を用いて文を作ったり会話したりするには、やはり単語力が必要！教科書に出てきた新出単語を中心に、単語学習にも力を入れましょう！
3校時 国語	<p>○教科書 p140～p145『河童と蛙』 p275～p279「文の成分」 P146～p163『オツベルと象』 P122～p126『故事成語－中国の名言－』 P200～p210『言葉がつなぐ世界遺産』</p> <p>○ワーク p78～p79、p48～p51、p80～91、p64～p71、p104～111</p> <p>○漢字 p42～p59</p> <p>○文法 P12～p27「文の組み立て」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストでは、聞き取り、漢字、文法、読解、作文の問題を出題します。テスト勉強では、教科書をよく読み、ワークでの演習を繰り返しましょう。ワークに取り組む際は、記述問題の書き方や選択肢の選び方などを意識しましょう。 ・記述問題（特に作文問題）では、話し言葉ではなく、書き言葉を使うようにしましょう。 ・記述の問題では、<u>国語のワーク P4、5に書いてあることに注意しましょう。</u>

第2日：12月1日（金）

時・教科	試験範囲	学習へのアドバイス
2校時 理科	○物質分野 教科書 p132～133(ガスバーナーの使い方) p154～201 便覧 p194～195(ガスバーナーの使い方) p201～211 ワーク p68(ガスバーナーの使い方)、p74～103	・今回の試験から、 <u>三角定規を用意する</u> ようにしまし <u>う。</u> ・今回は試験範囲がとても広いので、早めにワーク を進めておきましょう。 ・重要な語句を、意味とともに覚えましょう。 ・テストは、マークシート式です。濃くははっきりとマー クするために、鉛筆を用意しておきましょう。 ・ワークは「理科の学習ノート」で回収します。 ・計算問題については、何度も解いておきましょう。
3校時 数学	教科書 p.97～p.165 ワーク p.68～p.107	・文章題はよく問題文を読みましょう。 ・ <u>三角定規とコンパス</u> を必ず用意しましょう。 ・グラフはかき方のルールに従ってかきましょう。 ・ワークは p.68～p.107 まで取り組み、丸付けを して提出してください。他には、ドリルノート、授業ノ ートが提出です。詳しくは教科担任から説明します。